

よしだ文化会館だより

vol. **130**
2019.11.1

メールアドレス : yoshidabunkakaikan@city.kasaoka.lg.jp

人権週間のつどい

「突然、僕は殺人犯にされた」 著者

スマイリーキクチ さん 講演会

12月1日(日)14:00～15:30 保健センター

インターネットに潜む危険なワナ～加害者や被害者にならないためにすること～



講師 スマイリーキクチさん



問合せ 人権推進課
☎ (69) 2120

12月10日は、国際連合が世界人権宣言を採択した「人権デー」です。それを記念して12月4日～10日を「人権週間」と定めています。

市では、人権週間にちなんで、12月1日(日)に保健センターで、お笑いタレントで俳優のスマイリーキクチさんの講演会を開催します。キクチさん自身が経験した「インターネット中傷被害」を元に、講演をしていただきます。

人権週間のつどいに参加して、「インターネットと人権」について、ともに考えてみませんか。

※手話通訳・補聴器対応席有
※託児あり(要予約、11月18日(月)まで)

スマイリーキクチさん
中傷被害事件

キクチさんがインターネット上で「女子高生コンクリート詰殺人事件」の実行犯と決めつけられ、誹謗・中傷が10年に渡って続いた事件。

中傷犯たち19人が検挙され、北は北海道から南は大分県まで全国に幅広く存在し、警視庁の刑事によって摘発されました。中傷犯たちはインターネット上で流布されていたキクチ犯人説を信じていました。

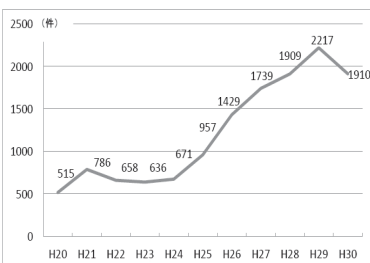
この事件は、インターネット上において1人の人間に対して誹謗中傷をした複数の加害者が一斉摘発された日本で初めての事件となりました。

スマイリーキクチさん
の紹介

お笑いタレント、俳優。東京北千住生まれの下町育ち。笑顔とおだやかな口調ながら、するどい切口のトークが特徴。NHKの連続テレビ小説で、過去には「まれ」や、最近では「半分、青い。」で理髪店の主人として出演し、俳優としても活躍。お笑いライブでは、ベテラン芸人として、するどいトークで会場を笑いの渦に巻き込みます。

また、常磐道あたり事件の時には、TBS情報番組「ビット」に生出演し、ネット中傷の被害者である自身の経験から、問題点について指摘をされました。

インターネット上での人権侵犯事件は、深刻な問題になっています。



▲インターネットによる人権侵犯事件の推移

平成20年からの10年間で、「人権侵犯事件」は約4倍に増えています。平成30年は減少しましたが、全体としては増加傾向にあります。

よしだ文化会館だより ①

人権 まんが 未来ちゃん

第54回

SNSで被害者にも
加害者にもならないために

作画 南一平



人権まんが解説

スマートフォンが普及で、ツイッター、フェイスブック、ライン、インスタグラムなどのSNSの利用が多くなりました。SNSは、趣味や写真、思いついたことをとても簡単に、瞬時に多くの人に発信したり、楽しみを共有することが出来ます。しかし、細かな言葉のニュアンスが伝わらず、いじめや仲間外れ、中傷を受けることがあります。また、軽い気持ちで書いたうわさ話や、事実と異なる書き込みは、拡散され、相手を傷つけることがあります。

先日の常磐自動車道での「あおり運転殴打事件」では、SNS上で「同乗の女」探しが行われました。事件とは全く関係のない女性の実名や顔写真までもが拡散され、その女性には大量の中傷の書き込みとともに、職場へ苦情の電話が殺到しました。女性は発信者だけでなく、転載した人を含め、法的措置も辞さない構えです。SNSは全ての情報が真実とは限りません。疑う気持ちを持って、発信・拡散するようにならねばなりません。

8月6日8時15分からの学び



考えのもと、被爆者からの聞き取りと当時の航空写真、資料をもとに広島を、忠実に再現しました。

最後に、劇団はぐるま座による、広島原爆詩人峠三吉の詩と、小中高生の原爆の詩で構成した「峠三吉と子どもの詩」の朗読劇がありました。参加者にも被爆者の苦しみ、つらさ、悔しさが伝わりました。

参加者は、原爆の悲惨さを二度と繰り返してはいけな平和がとても大切なものと感じることができました。

7月26日、市民会館で「笠岡市平和祭」を開催し、約350人が参加しました。演目は、最初に新吉中学校全校生徒による、「翼をください」ほかの合唱がありました。生徒のすばらしい合唱で、会場の人にも歌に込められた熱い思いが伝わりました。



福山工業高校VR体験

吉田文化会館からこんにちは

○夏のおもいで

7月22日、おもしろ工作教室を開催し、子どもたちは、プラバンなどを協力しながら楽しく作りました。

7月31日、漫画家の南先生と画家の荒木先生を招いて、子ども絵画教室を開催しました。両先生から絵の構成や色づかいの指導を受けて、楽しい夏のおもいでが完成しました。

○桂米裕

「人権塾&落語会」



落語家 桂 米裕さん

矢掛町在住の落語家 桂米裕さん（桂米朝一門）をお招きして、11月13日（水）13時30分から吉田文化会館集会所において、人権塾と落語会を開催します。入場は無料です。皆さんご参加ください。

講師の紹介

落語家、矢掛町囃勝寺住職 多聞寺住職

落語家、多聞寺住職は、バラエティ法話番組を担当。また、各地域の公民館で落語会を開催するなど、幅広く活動している。

あきがき

夏休みに開催した絵画教室で気づいたことがあります。



す。私が小学生の頃、絵の授業では、人の肌を塗るときは、「はだ色」という色を使っていたが、今はその色はありません。文具メーカーによると、「はだ色」の呼称は、「人の肌の色へ固定観念を与える可能性があると指摘がありメーカー同士で協議し、色の呼び名を「パールオレンジ」や「うすだいだい」に変更したそうです。

市でも国際化が進み、現在約500人の外国籍の人が住んでいます。さまざまな考え方や価値観があることから、多様な人々を理解し認め合い尊重しあう社会の実現が求められています。多様性が受け入れられ誰もが住みやすいと感じられる社会、自分らしい生き方ができる社会を、私たちの力でつくっていきましょう。

吉田文化会館H・M